

仙北市の
魅力を伝える

スローライフモニターツアー

平成19年10月12日から14日までの3日間、仙北市スローライフモニターツアーが市内で開催されました。

このツアーは、仙北市重点プロジェクト推進室が企画したもので、定住促進事業の一環として、仙台以西に居住される団塊の世代や田舎暮らしに興味のある方々を対象に、工芸体験やトレッキング、空き家案内、地元食材を使った料理の提供など、短期滞在のツアーを通じて、仙北市の魅力を十分に満喫していただくもので、応募総数107名の中から抽選で選ばれた16名が参加しました。

初日、角館駅前蔵で歓迎セレモニーが開催されました。

石黒市長の歓迎のあいさつ、仙北市の概要やその魅力についての説明に続き、角館駅前前で市長を囲んで参加者皆さんの記念写真を影撮しました。

角館地区で武家屋敷を散策し、イタヤ細工制作を角館榊細工伝承館で体験しました。講師の菅原清澄さんの指導のもと、参加者は見よう見まねで、キリンや馬などを思いおもいに制作。その後一行は、西木町の2軒の農家民宿に分宿し、夕食にはきりたんぼ鍋などの田舎料理を堪能しました。

2日目の朝、農家民宿のハウスでハウレンソウなどを収穫しました。採れたての野菜のみずみずしさに、参加者は大喜び。トマトを丸かじりした参加者は「甘くておいしい」と感激していました。

お昼は、桧木内川河川公園でグリーンツーリズム西木研究会の協力のもと、山の幸をふんだんに入れたきりたんぼ鍋をはじめ、栗ごはん、焼きさんま、漬物など季節の食材盛りだくさんのメニューをご馳走になりました。

午後からは、久之助栗園（西木町）で栗拾いを体験。ジャンボ栗拾いゲームとして、一番大きな栗を拾った参加者には、市から1kgの栗がプレゼントされました。参加者の中には、「はじめて栗拾いをしたが、子供のように夢中になる」という感想も！

最高は45gの栗を拾った参加者4名で、プレゼントは山分けとなりました。

その後、上桧木内地区の空き家を見学。参加者からは、「広くて、ちょっと大きすぎる」との声が多かったようです。「とりあえず、試しには小さいほうがよい」との意見がありました。

2日目の夜は乳頭温泉郷に宿泊。

参加者は満天の星と情緒あふれる露天風呂に大満足していました。





最終日の朝は、乳頭温泉郷トレッキング。この日も好天に恵まれ、結局3日間とも快晴となりました。

田沢湖自然体験センターの佐藤裕之さんをインストラクターに迎え、蟹場温泉から孫六温泉、黒湯温泉、空吹湿原などのルートを歩きながら国民休暇村までゆっくりと歩きました。

参加者は、紅葉の始まった木々などを眺めながら、ブナの原生林についての説明などを興味深げに聞き入っていました。その後、アルパこまくさで入浴。田沢湖が一望できる露天風呂にみなさん満足そうでした。

午後には、思い出の潟分校でお別れ反省会を行い、今回のツアーについて、アンケートと感想を書いていただきました。

その後田沢湖畔を周遊し、田沢地区の千葉家伝林を所有する千葉茂樹さんの案内のもと、秋田杉についての説明を受けました。最後は、田沢湖駅前で記念撮影をしてお別れとなりました。

ツアーを終えて、色々な意見がありましたが、参加者からは比較的好意的な感想が多く聞かれました。

参加者の感想として「大変満足でした。地域の生活と人柄にふれられたことが一番。今回のツアーを季節ごとに実施してもらいたい」「日常の生活を忘れさせ、のんびりと静かな時間を過ごせたことが良かった。仙北市の魅力が伝わりました」との意見がありました。

また、ツアーに対する意見として「武家屋敷を有料でもいいからゆっくり中まで見たかった」「農作業体験をもう少し増やしてもらいたかった」などの意見もあり、今後の課題にしたいと思います。

今回参加した皆さんや、残念ながら抽選から落ちてしまった100名近い応募者からは、仙北市に興味をいただいていると思われるので、定住対策について前向きに、今後も情報発信をはじめ、寄せられた様々な意見、感想などを反映させ、今後も定住へのきっかけとなるように市民の皆さんのご協力もいただきながら、通常の観光とは一味違ったツアーを継続できるように取り組んでいきたいと考えています。

仙北市企画政策課
重点プロジェクト推進室